

令和 6 年度

千葉県住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金

書類作成時の注意事項

1 写真撮影時の注意事項

(1) 撮影写真について

○：必須、△：状況により必要

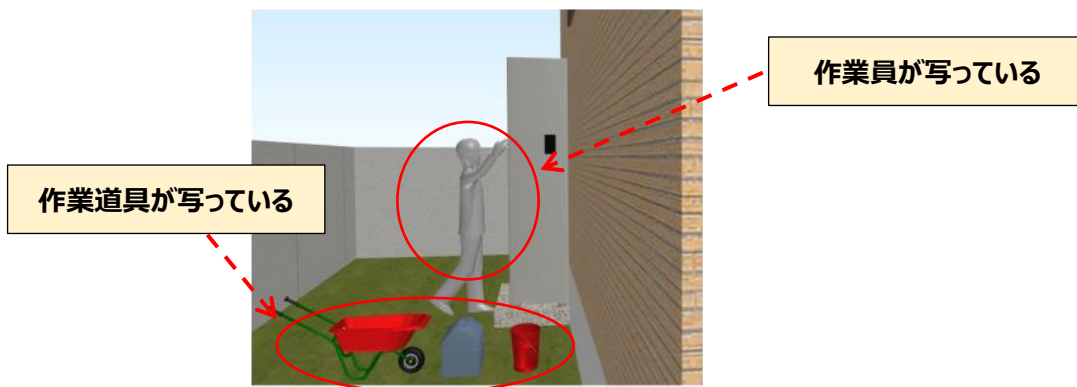
設置設備			施工前	施工後	銘板
太陽光発電設備	住宅全景		○		
	屋根面		○	○	
	パワーコンディショナー			○	○
	併設機器 (どちらか)	①蓄電池	ユニット本体		△※1
②V2H		ユニット本体		△※1	△※1
ZEH	住宅全景			○	
	太陽電池モジュールが写っている住宅 全景及び屋根面の写真			△※2	
エネファーム	ユニット本体			○	
	構成機器	燃料電池ユニット			○
		貯湯ユニット			○
蓄電池	ユニット本体			○	○
	太陽電池モジュールが写っている住宅 全景及び屋根面の写真			△※2	
窓断熱	住宅全景		○		
	窓		○※3	○※3	△※3
次世代自動車 ※4	車両			○	
電気自動車・プラ グインハイブリッド 自動車(併設設 備あり)※5	充電設備			△※6	△※6
	太陽電池モジュールが写っている住宅 全景及び屋根面の写真			△※2	
	V2H 本体			△※6	△※6
V2H	ユニット本体			○	○
	太陽電池モジュールが写っている住宅 全景及び屋根面の写真			△※2	

- ※1 保証書のコピー等で蓄電池またはV2Hの設備を併設していることを確認することができる書類を提出する場合は不要です。
- ※2 保証書(モジュール及びパワーコンディショナー)のコピー等太陽光発電設備を併設していることを確認することができる書類を提出する場合は不要です。
- ※3 施工前と施工後の判断が難しい場合は、施工中の写真または、(一社)環境イニシアチブ等の登録番号のシールが貼られている写真をご提出ください。
- ※4 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車
- ※5 太陽光発電設備併設の場合は「充電設備」及び「太陽電池モジュールが写っている住宅全景及び屋根面」の写真をご提出ください。V2Hも併設の場合は全てご提出ください。
- ※6 保証書のコピーを提出する場合は不要です。V2Hで充電設備を兼ねている場合は、銘板の写真もご提出ください。

(2) 共通注意事項

- ・写真は高画質で撮影し、カラーで印刷してください。
- ・設備の設置に係る写真（施工後）について、「足場」「作業員」「作業道具」等が写っている場合、工事が完了していることが確認できないため、写真の不備となります。（太陽光発電設備の屋根面等、「足場」等を使用しないと写真の撮影が困難な場合を除く）

【参考】写真不備の事例



- ・夜間または夕暮れ時の撮影では設置状況が確認できないため、日中に撮影してください。
- ・銘板写真は、「型式」がわかる撮影をお願いします。（**製造番号は不可**）
- ・写真撮影日を記載してください。（撮影日がわかる写真、もしくは台帳に撮影日を記入）
- ・任意様式の写真台帳を使用いただくと便利です。

(3) 太陽光発電システムの写真に係る注意事項

①住宅全景

- ・ 太陽光発電設備の設置する屋根面が写るように、住宅全体を撮影してください。
- ・ 足場、作業員、工具等が写っている場合は写真の不備となります。

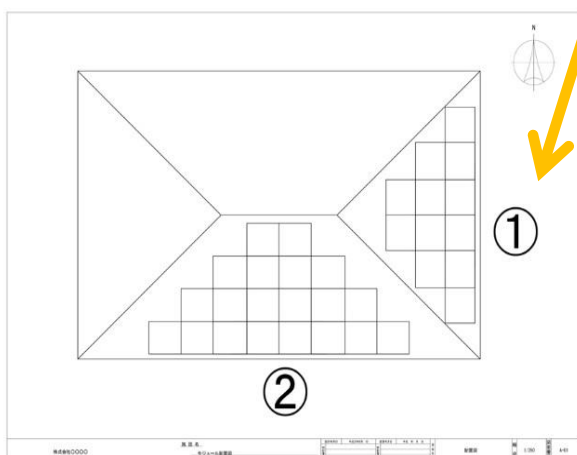
【参考】撮影例



②屋根面

- ・ 設備の配置図（太陽光モジュールの配置図）に記載されている屋根面及びモジュールの枚数が確認できるように撮影してください。
- ・ 配置図で付番した番号と一致するように、写真の余白などに付番してください。

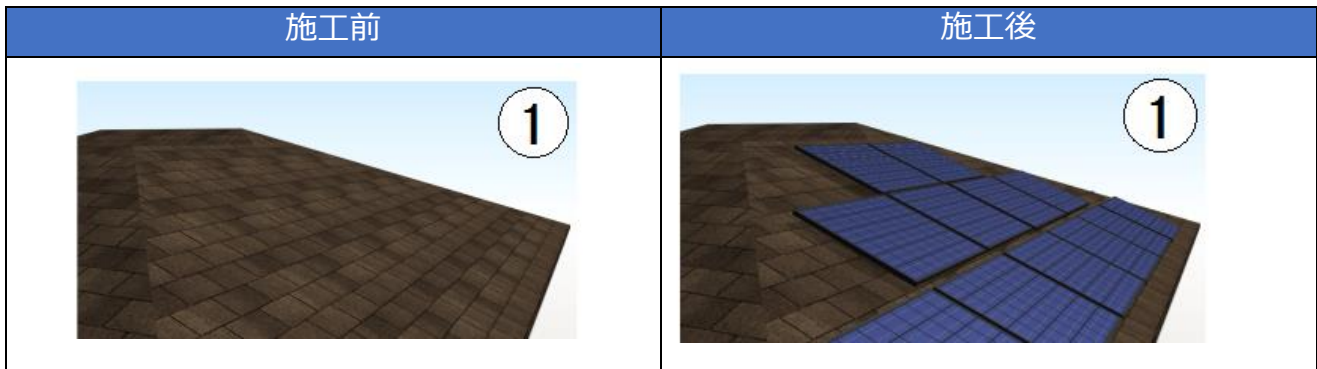
太陽光モジュール配置図（例）



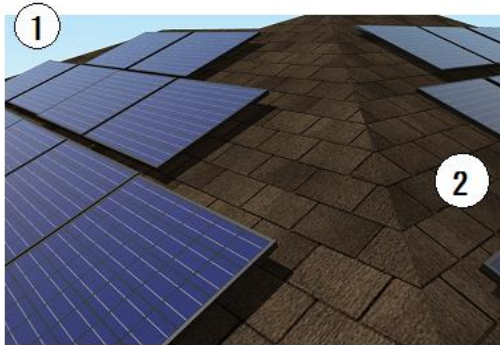
屋根番号を付番してください



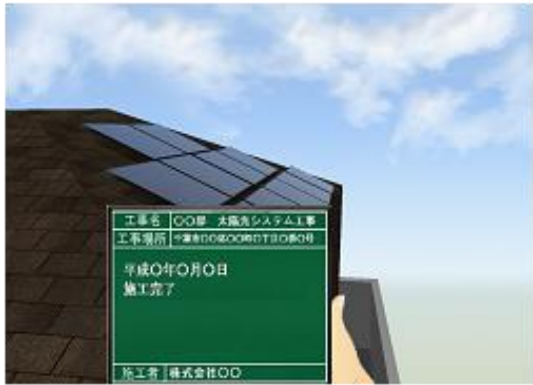


- ・設置前後の写真と比較するため、同じアングルで撮影してください。



- ・ 1枚の写真に納まらない場合は、分割して撮影しても構いません。




【参考】過去に不備となった事例

<p>黒板でモジュールが見えない ※黒板は無くても構いません</p>	<p>端部のモジュール毎の区切りが 確認できない</p>
	
<p>下段のモジュール毎の区切りが 確認できない</p>	
	

③パワーコンディショナー及び併設機器


- ・対象機器及び設置状況（周辺状況）がわかるように撮影してください。
- ・銘板の写真について、記載内容が見えるように撮影してください。

ア パワーコンディショナー

設置後	銘板
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>太陽光発電用パワーコンディショナー 銘板の写真【参考】</p> <hr/> <p>型番 ○○○○</p> <p>定格出力 △△Kw</p> <p>最大許容入力電圧 DC**V</p> <p>製造番号 □□□□□</p> <p>製造年月 ○年○月○日</p> <p style="text-align: center;">株式会社 ○○○○</p> </div>

イ 定置用リチウムイオン蓄電システム（蓄電池）、V2H 充放電設備

- ・蓄電池は、一般社団法人環境共創イニシアチブに登録されているパッケージ型番がわかるように撮影してください。
- ・蓄電池本体が複数で構成される場合は、全ての蓄電池本体を撮影してください。

設置後	銘板
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リチウムイオン蓄電池 銘板の写真【参考例】</p> <hr/> <p style="text-align: center;">○○○○○</p> <p>品名 : 蓄電池本体</p> <p>形名 : ○×-△×○○○○</p> <p>蓄電池モジュール : リチウムイオン電池 (○×-■△:○台)</p> <p>公称容量(定格容量) : 4.8kWh(4.4kWh)</p> <p>定格出力 : DC104.2V</p> <p>製造番号 : △△○○○■×○</p> <p style="text-align: center;">○○○○株式会社</p> </div>

(4) 家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システム（蓄電池）、V2Hの写真に係る注意事項

- ・設置状況及び銘板については、(3) ③の注意事項をご確認ください。
- ・エネファーム等、1つの設備が複数のユニットで構成されている場合、各ユニットの銘板を撮影してください。
- ・太陽光発電設備を併設していることを確認する書類として、住宅全景及び屋根面の写真を提出する場合は(3)の注意事項をご確認ください。

【参考】エネファームの撮影例

設置後	銘板 (燃料電池ユニット)	銘板 (貯湯ユニット)																												
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">家庭用燃料電池(エネファーム) 燃料電池ユニット側面の 銘板の写真【参考例】</p> <hr/> <p>品名 O△-x × □□O△-Ox</p> <p style="text-align: center;">燃料電池O△△システム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">名称</td> <td>燃料電池発電ユニット</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>直接分子形、炭素式</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>●△-x × ●○</td> </tr> <tr> <td>原料の種類</td> <td>都市ガス用 13A</td> </tr> <tr> <td>原料消費量</td> <td>1.8kW</td> </tr> <tr> <td>原料供給圧力</td> <td>1.0MPa~2.5MPa</td> </tr> <tr> <td>定格出力</td> <td>0.70kW</td> </tr> <tr> <td>定格電圧</td> <td>AC100V</td> </tr> <tr> <td>相数</td> <td>単相3線式</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>50/60Hz</td> </tr> <tr> <td>設置条件</td> <td>野外式 -10~43℃</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>77kg</td> </tr> <tr> <td>製造番号</td> <td>2000年0月-△O△△O</td> </tr> <tr> <td>製造業者</td> <td>■■■■株式会社</td> </tr> </table> </div>	名称	燃料電池発電ユニット	種類	直接分子形、炭素式	形式	●△-x × ●○	原料の種類	都市ガス用 13A	原料消費量	1.8kW	原料供給圧力	1.0MPa~2.5MPa	定格出力	0.70kW	定格電圧	AC100V	相数	単相3線式	周波数	50/60Hz	設置条件	野外式 -10~43℃	質量	77kg	製造番号	2000年0月-△O△△O	製造業者	■■■■株式会社	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">家庭用燃料電池(エネファーム) 貯湯ユニット側面の銘板の写真【参考例】</p> <hr/> <p style="text-align: center;">OO-△△△-x × -□□□□□□ NA□□□□□□14△△△</p> <hr/> <p style="text-align: center;">○○○○-△△△△△△</p> <p>貯湯量 140ℓ</p> <p>電源 AC100V 50/60Hz</p> <p style="text-align: center;">15. 10-039○○○ 株式会社 △△△△</p> <hr/> <p style="text-align: center;">■■■■株式会社</p> </div>
名称	燃料電池発電ユニット																													
種類	直接分子形、炭素式																													
形式	●△-x × ●○																													
原料の種類	都市ガス用 13A																													
原料消費量	1.8kW																													
原料供給圧力	1.0MPa~2.5MPa																													
定格出力	0.70kW																													
定格電圧	AC100V																													
相数	単相3線式																													
周波数	50/60Hz																													
設置条件	野外式 -10~43℃																													
質量	77kg																													
製造番号	2000年0月-△O△△O																													
製造業者	■■■■株式会社																													

(5) 窓の断熱改修の写真に係る注意事項

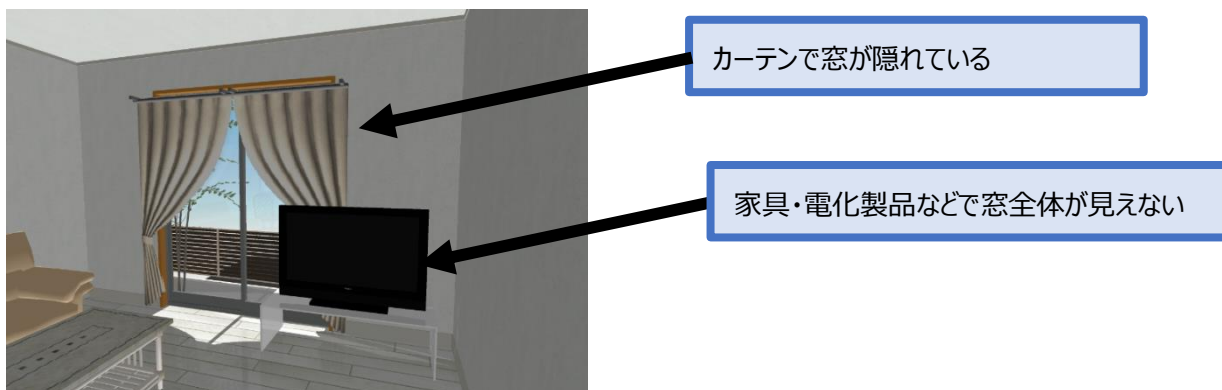
①住宅全景

- ・対象の住宅が既築住宅であることを確認するためのものであるため、改修する窓が確認できなくても構いません。
- ・足場、作業員、工具等が写っている場合は不備となります。

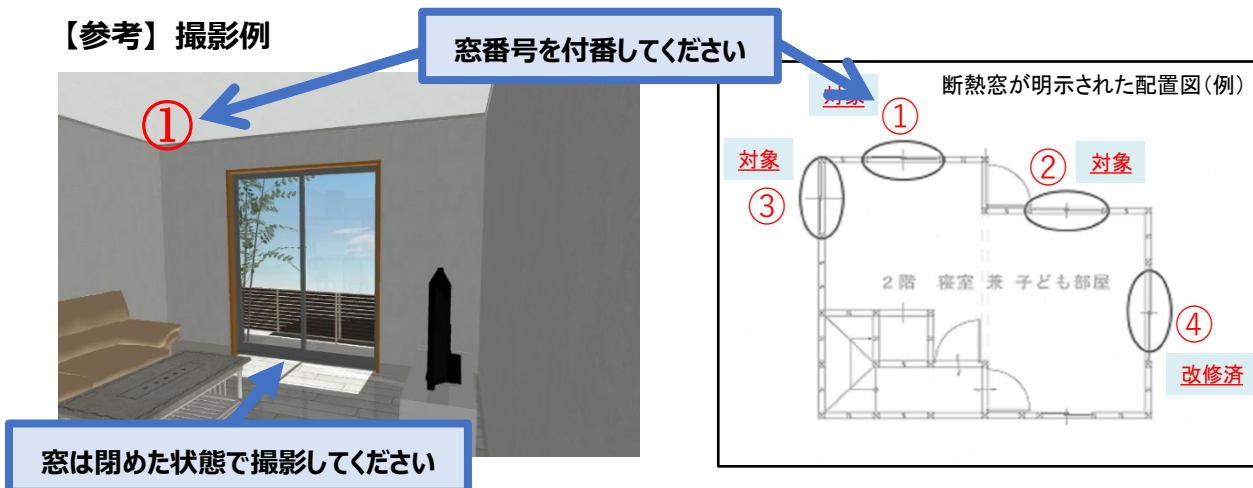
②窓

- ・施工前後の写真を、それぞれ同じ角度から撮影してください。
※ガラス交換等で工事着工前と工事着工後の変化が分かりにくい場合は、設置が完了していることが分かるような写真も撮影してください。
例：工事作業中の写真、新しいガラスであることを示すシールが貼られた写真
- ・改修したすべての窓について、窓全体が映るように撮影してください。
※窓を障害となりうるもの（カーテン、障子、雨戸、棚、観葉植物等）は除いてから撮影してください。
- ・「断熱窓の仕様」及び「断熱窓が明示された配置図（平面図等）」で付番した番号と一致するように、写真の余白などに付番してください。

【参考】写真不備の事例

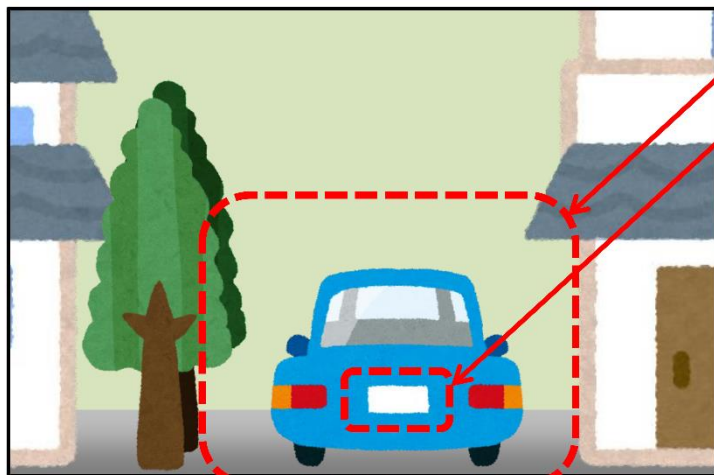


【参考】撮影例



(6) 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車の写真に係る注意事項

■写真撮影要件



【写真撮影例】

- ① 保管場所（車庫・駐車場等）にて撮影してください。
- ② 車の全体を写してください。
- ③ 車のナンバープレートを書してください。
※ ナンバープレートの記載内容が確認できるように写してください。
- ④ ①～③の要件を満たす写真が1枚で撮影できない場合は、複数枚撮影してください。

※太陽光発電設備等併設の場合で、充電設備等の保証書の写しを提出できない場合は、充電設備等の設置状況が確認できる写真を撮影してください。

※太陽光発電設備を併設していることを確認する書類として、住宅全景及び屋根面の写真を提出する場合は（3）の注意事項をご確認ください。

2

申請書類の訂正方法

申請書の記入上の注意

- ① 修正液等の使用、2度書き、塗りつぶし等はいししないでください。
- ② 「消せるボールペン」は使用しないでください。

受理できない申請書の記載例



書き間違えた場合の訂正方法について

修正方法1 訂正署名

- ① 間違えた箇所に二重線を引く。
- ② その上に正しい文言を書く。
- ③ その隣にフルネームで小さく署名する。

修正例（申請者が千葉 太郎さんの場合）

千葉 太郎 令和〇〇年〇月〇日
~~令和△△年△月△日~~

修正方法2 訂正印を押す

- ① 間違えた箇所に二重線を引き、訂正印を押印する。
- ② その上に正しい文言を書く。
- ③ 申請者欄にも同じ印鑑を押印する。

【注意】 訂正印を使用する場合は、訂正した書類の申請者欄にも同じ印鑑を押印する必要があります。

修正例（申請者が千葉 太郎さんの場合）

令和〇〇年〇月〇日
~~令和△△年△月△日~~

近年、申請書類の不備や誤記により、補助金の交付決定まで時間を要するケースが増えています。申請書類に誤りがないか、提出前に再度ご確認をお願いいたします。

なお、自署する書類について、以下の対応を行うことにより書類の訂正対応がスムーズになりますので、ご検討ください。

<対象書類（自署または記名押印する書類）>

① 交付申請書兼実績報告書（様式第1号）

- ・書類の上段に捺印する。
- ・自署欄の脇に押印する。

※上記対応を行った場合でも、補助金交付申請額に係る訂正はできませんので、当該欄で不備や誤記があった場合は改めて書類を提出する必要があります。